

持続可能な公共交通ネットワークについて

将来像に掲げる持続可能な公共交通ネットワークについて

- 将来像に掲げる「持続可能な公共交通ネットワーク」の実現に向けて、公共交通を「基幹交通」「幹」「枝葉」の階層に分け、役割分担を行うことで、必要な機能を維持していく。

【公共交通の階層】

基幹交通

⇒都市間を結ぶ市の広域的な移動の根幹となる交通軸
(鉄道、モノレール)

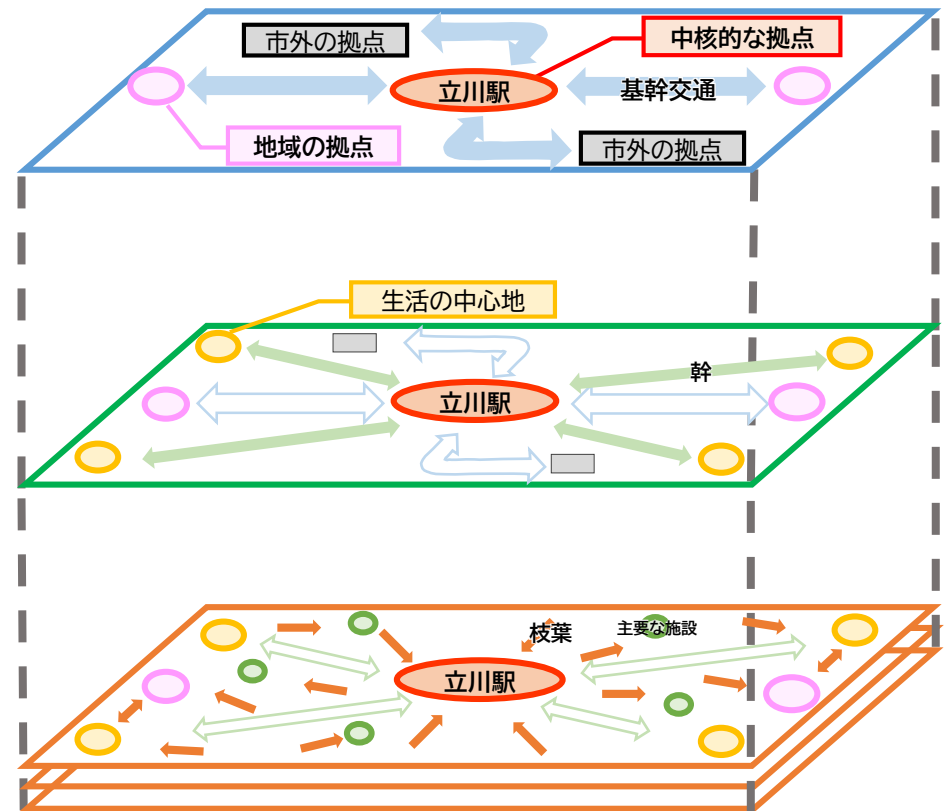
幹

⇒近隣市間や市内外の生活拠点を結び、
基幹交通へのアクセスも支える、
市の移動の骨格となる交通軸
(主要な路線バス、コミュニティバス
(錦・西砂ルート))

枝・葉

⇒日常生活における身近な移動や地域・生活の拠点、基幹交通、幹へのアクセスも支える(小型)交通(路線バス(上記除く)、シェアリングモビリティ、地域内交通、タクシーなど)

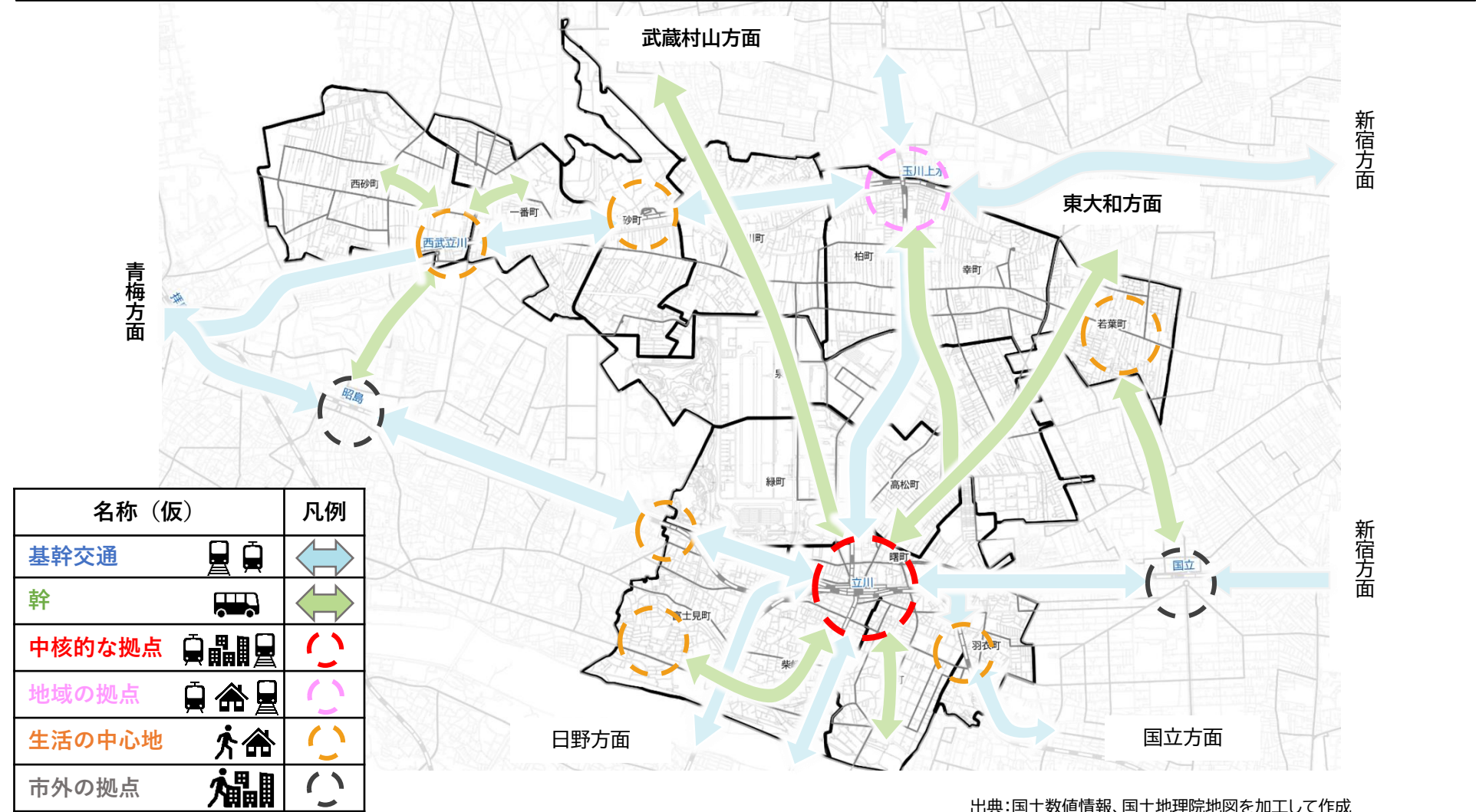
【階層のイメージ図】



将来像に掲げる持続可能な公共交通ネットワークについて

持続可能な公共交通ネットワークについて(イメージ図)

- 現状のバスの運行状況や移動実態等を踏まえ、「基幹交通」及び「幹」を整理した
(※枝葉は当図には含まれていない)。



出典:国土数値情報、国土地理院地図を加工して作成

※図中の拠点は、立川市都市計画マスタープラン(改訂中)の内容を参考に作成(市外の拠点を除く)